

弘前大学教育学部研究紀要

# ク ロ ス ロ ー ド

第 28 号(通巻第68号)

## CROSSROADS

Journal for Educational Research  
Published by the Faculty of Education  
Hirosaki University

No. 28 (Old Series 68)

March 2024

2024年3月

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

# 目 次

## 研究論文

- インテグリティを育むGボールゲームの学習指導 …………… 上野 秀人, 他 (1)
- 中学校におけるネット型：インディアカ授業実践  
－高揚感享受に着目して－ …………… 古川 冬真, 他 (11)
- 高等学校数学科におけるレポート課題の開発と学習評価 …………… 小関 央高, 他 (19)
- 「食」から迫る戦後史学習  
－高等学校・地理歴史科「日本史A」における試み－ …… 中野 悠, 他 (29)
- 小学校における意図的・付随的語彙指導の実践 …………… 佐藤 剛, 他 (39)
- 知的障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校中学部  
保健体育科の武道における少林寺拳法指導プログラムの開発 (2)  
－聴覚障害のある生徒への実践を通して－ …………… 天海 丈久, 他 (49)
- 「共に豊かに生きる力」を育む交流及び  
共同学習についての一考察 …………… 八嶋 孝幸 (59)
- 中学校体育におけるネット型バレーボールの授業研究：  
「ゲーム」と「ルール」の簡易化を意図した実践 …………… 羽村 麻美, 他 (69)
- 特別支援学校と小学校の交流及び共同学習における  
児童間の相互作用に関する一考察 …………… 鳴海 愛子, 他 (79)
- 生涯学習の視点で小学部と高等部それぞれの実践を  
情報共有することは意義があるだろうか？  
－特別支援学校におけるライフステージを踏まえた  
指導の可能性と課題－ …………… 石橋 想, 他 (91)
- 特別支援学校小学部授業における地域資源の活用  
－生活単元学習「なつさがし」をととした  
意義と学習効果－ …………… 千葉 麻奈美, 他 (101)

## 記 録

- 教育実践協同研究推進委員会活動記録 …………… (117)
- 2023年度（令和5年度）研究会名簿 …………… (119)
- 研究会活動記録 …………… (120)
- 教育実践協同研究通信 …………… (125)

# 弘前大学教育学部研究紀要クロスロード刊行および投稿規定

弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会

## 投 稿 規 定

1. 本誌には教育実践に関する研究論文並びに報告、紹介などを掲載する。
2. 発行は原則として毎年3月の年1回とし、A4判約150ページとする。
3. 原稿募集の時期は10月とし締め切りは概ね1月末とする。
4. 論文の著者には本学部または附属学校園の教員が含まれていなければならない。
5. 原稿は、別に定める執筆要領に従って作成するものとする。
6. 論文等は、原則として、図表（写真、楽譜などを含む）を含めて、1編につき刷り上がりで10ページ以内とする。
7. 掲載順序など編集に関することは、本委員会が決定する。なお、論文等に関して疑義などが生じた場合、本委員会は著者と協議し必要があれば著者に修正を求めることがある。
8. 校正は原則として著者が行い、3校までとする。校正は印刷上の誤りの訂正のみとし文章や図表の差し換え、追加などは認めない。
9. 超過ページ、カラー図表などの印刷について、特に費用を要するものはその著者の負担とすることがある。
10. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とする。
11. 別刷を希望する場合は投稿の際に必要な部数を申し出る。料金は別に定め、経費は著者が負担する。
12. 以上の年1回の定期発刊の他、特集号を発行することがある。特集号は、拡大編集委員会を組織し企画および編集にあたるものとする。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、論文は「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開するものとする。

この規定は、2020年10月1日から施行する。

## 執 筆 要 領

1. 提出原稿には、表紙、要旨本文及び引用・参考文献が揃っていないといけない。
2. 表紙には、論文等の表題、著者名及び所属を和英両語で記載する。なお、英語にかえて、他の汎用性の高い言語で記載してもよい。
3. 要旨は本文の前に入れ、和文の場合は400字以内、欧文の場合は120語以内とする。
4. 原稿は、原則として、A4判の縦置き横書きとしワープロを使用して作成する。和文の場合は文字10.5ポイント、1ページあたり48字46行、上下、左右の余白は20mmとする。欧文の場合も1ページ46行を原則とする。原稿は図表を組み入れたPDFファイルと編集可能な電子ファイル（Word、一太郎など）の両方を提出する。メディアと提出方法は編集担当者が別に定める。
5. 文献の引用は、原則として本文中の該当箇所の右肩に片括弧付き番号をつけて表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の表題、雑誌名、巻号、ページ、発行年を、単行本の場合は著者名、書名、出版社、ページ、発行年を記載する。
6. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を電子ファイルで添付する。

## 投稿にあたって

(2022年12月5日追記)

投稿にあたっては、以下の【覚書】にある項目のチェックを行ってください。

### 【覚書】クロスロード投稿に関する覚書

クロスロードの投稿にあたっては、次のチェックを行ってください。

- 引用が盗用、剽窃に当たらないように適切に行われていますか。
- 引用文献等が文末に適切に示されていますか。
- プライバシーの保護に関し、写真や資料等の掲載の許諾が適切に行われていますか。
- アンケート等をとる場合は、利用目的を示して回答者の合意を得ていますか。
- 要配慮個人情報等を取り扱う場合は、研究対象が特定されない等の情報の適切な秘匿・加工等が行われていますか。また、学内倫理委員会の審査を経ていますか。

このチェックは、投稿論文の査読をするものではなく、クロスロードの電子化にあたって、プライバシーの保護、著作権の保護を適切に行えるようにするためのものです。

附属学校の先生のみでの投稿される場合等で、不明のことがあれば、該当する学問分野の学部教員・教職大学院教員にご相談ください。

該当する学問分野の教員が見つからない場合、投稿にあたって不明なことがあれば、投稿の前に協同研推進委員会にお問い合わせください。

編集

教育実践協同研究推進委員会

広報・情報発信班

清水 稔（教育学部） 代表  
松山 祐子（附属幼稚園）  
佐藤 一幸（附属小学校）  
野呂 香（附属中学校）  
加賀谷 紀（附属特別支援学校）

弘前大学教育学部研究紀要

ク ロ ス ロ ー ド

第 28 号（通巻第68号）

（2024年 3 月）

令和 6 年 3 月22日発行

編集兼発行者

弘 前 大 学 教 育 学 部

弘前市文京町1番地

電話（0172）36-2111(代)

印刷所 やまと印刷株式会社

弘前市神田4丁目4の5

電話（0172）34-4111

# CONTENTS

## PAPERS

- Educational instruction of G-Ball Game to foster integrity ..... Hideto UENO et al ( 1 )
- Net-based Classroom in Junior High Schools: Indiana Classroom Practice  
– Focus on the Positive Engagement – ..... Toma KOGAWA et al (11)
- Development of Report Assignments and Assessment as Learning  
in High School Mathematics Department ..... Hisataka KOSEKI et al (19)
- Learning about Contemporary Japanese History  
using food in High school ..... Yu NAKANO et al (29)
- Implementation of Deliberate and Incidental Vocabulary  
Instruction in Elementary Schools ..... Tsuyoshi SATO et al (39)
- Development of the *Shorinji Kempo* Martial Arts Teaching  
Program Conducted in the Lower Secondary Department's  
Health and Physical Education Class of a Special Needs School  
That Educates Students with Intellectual Disabilities (2):  
Case Study for the Student with Hearing Impairment ..... Takehisa AMAGAI et al (49)
- A Study on Fostering the Ability to Live Richly Together  
through Interaction and Collaborative Learning ..... Takayuki YASHIMA (59)
- A Study of Net Type Volleyball in the Physical Education  
Program of a Junior High School :  
Practice with the Intention of Simplifying  
“Games” and “Rules” ..... Asami HAMURA et al (69)
- A Reflection on Interactions between Students in the  
Special Needs School and the Elementary School  
in Collaborative Learning ..... Aiko NARUMI et al (79)
- Is it meaningful to share information on each practice  
between the elementary and high school sections from  
the perspective of lifelong learning? :  
Possibilities and challenges of instruction based  
on life stages in special needs schools ..... Sou ISHIBASHI et al (91)
- Utilizing some community resources for elementary students  
with intellectual challenges in special needs schools:  
Significance and learning effects of the life unit  
learning “Finding Summer” ..... Manami CHIBA et al (101)

## RECORDS

..... (117)